



Q：「ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎」について教えてください。

A：日本人に胃がんが多いのはご存じの通りですが、日本における胃がん患者の90%以上が、ピロリ菌感染による胃炎が主因であることが明らかになってきました。しかも、日本人の半数以上がピロリ菌に感染していると言われています。

ところが、これまで保険で除菌治療を受けられる病気は、ピロリ菌感染が原因と考えられる胃潰瘍と十二指腸潰瘍だけで、それ以外は保険適用外でした。しかしピロリ菌を除菌すれば、胃がんの発生

を抑制できることが分かってきたため、平成25年2月から「ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎」という病名が新たに保険適用となったのです。

つまり、内視鏡検査でピロリ菌による慢性胃炎の所見が確認できれば、潰瘍が無くても、保険で除菌治療が受けられるようになったのです。これは画期的なことであり、ピ



ロリ菌感染者の多くが除菌治療を受けられるようになれば、胃がん予防が前進し、将来的に胃がんで亡くなる人が確実に減ると考えられます。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F）

☎0555・2888・1801